

標準利用期間を超える支給決定の再更新についての意見書

提出年月日 2026年 4月 1日

(提出先) 川越市長

事業者番号	9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
事業者の名称 及び 代表者の氏名	川越就職センター 代表 川越 太郎
記入者の氏名 及び連絡先	川越 次郎 TEL 999-999-9999

下記のとおり訓練等給付費の支給決定の再更新について本事業所の意見を提出します。

受給者証番号	999999999999	支給決定 障害者名	川越 三郎
サービスの 種類	<input type="checkbox"/> 自立訓練（機能訓練） <input type="checkbox"/> 自立訓練（生活訓練） <input checked="" type="checkbox"/> 就労移行支援 <input type="checkbox"/> 自立生活援助 <input type="checkbox"/> 共同生活援助（地域移行型ホーム） <input type="checkbox"/> 共同生活訓練 <input type="checkbox"/> 地域移行支援	現在の支給期間を記載 希望する再更新期間ではござい ませんので注意してください	
支給決定の更新に係る 有効期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月 31日		
支給決定期間内におけ る事業所の開所日数	243日	支給決定期間内におけ る利用日数	84日 平均利用日数/月 7日

1 標準利用期間を超えて再更新を行う必要性の有無

再更新につ いての事業 者意見（あ てはまる記 号に○）	A ○	現時点では十分な訓練効果を得られていないが、継続してサービスを利用することで改善が見込まれるため、サービスの利用の継続が適当
	B	十分な訓練効果が見込まれないため、サービスの利用の継続は不適当 ⇒利用が適当と思われるサービス（ ）
	C	訓練による十分な成果が得られたため、サービスの利用の継続は不要
	D	その他（ ）

2 1の意見の理由

1の回答がAの場合の継続希望期間

2026/4/1 ~ 2027/3/31

本人の就労に向けた意欲は非常に高い。プログラムへの参加も積極的であった。本人はPCのスキルを活かした事務作業（PCへの入力作業等） しかし、2025年の5月から家族との関係性が悪化し、精神的に不安定となり、2026年2月ごろ（期間①）まで、参加の頻度が激減した。 その間も、頑張って月1~2回は参加していたが、プログラムの消化が間に合わず、スキルの習得に至らなかった。 2026年3月時点で、家族関係も回復傾向にあり、プログラムの参加頻度も戻りつつある。 標準利用期間を延長することで、期間①において、遅れていたプログラムを消化し、PCスキルを習得することができれば、本人の希望する事務系職種への就労に結び付くと考えられることから、延長を希望する。
--

3 支給決定の変更(経過) **現在の支給期間**における課題と取組の経過を記載してください。 **目標とそれに対する取組(支援内容・経過)**

No		取組(内容・経過)
①	生活リズムを整え、安定して通所できるようにする	簡単にクリアできる毎月の目標設定を職員と共に作成し、予定表アプリに入力し、毎日チェックする。成功体験を積むことで自信となり、意欲的に通所できるように支援
②	Excelの基本操作を習得する	①模擬的な伝票入力を通じて、簡単なデータの入力方法を指導 ②帳票の作成を通じて、セル結合・レイアウト設定・印刷設定等の基本操作を指導
③	営業事務・経理等で使用される、Excelの関数に関する知識を習得する	実務レベルに必要な関数(SUM, IF, COUNT, VLOOKUP等)の使い方を習得する
④	報告・連絡・相談等の実務で求められるコミュニケーションを習得する	ケーススタディを通じて、上司や同僚に伝わりやすいコミュニケーションの方法について指導

3の①～④に対応する達成度、残った課題を具体的に記載して

4 3の課題・目標に対する達成度と残った課題
※3の各Noと対応するように記載してください

No	達成度	残った課題
①	小さな目標をクリアしていく充実感により、通所に前向きになったが、家族間のトラブルから、安定した通所ができなかった。	障害要因であった家族関係が改善されたことから、通所に向けた課題はクリアされたと思われるが、経過観察は必要。
②	基本的な入力スキルは備わっている	自分で、要件にあった帳票を作成することはまだ難しい。テンプレートを元に、実務で使用できるレベルの編集能力を身に付ける必要がある。
③	未達成	SUM関数など、基本的な関数は理解できているが、IF文の記述など、複雑な関数の設計には至っておらず、学習の継続が必要。
④	日常的なコミュニケーションは可能 実務レベルのコミュニケーションは未習得	雑談ベースのコミュニケーションは可能になっている。一方でビジネス的なコミュニケーション(結論から話す、簡潔に話す、仮説を立ててから相談等)は難しく、学習の継続が必要。

5 4の課題を改善するための
 ※4の各Noと対応するように

1~12か月の範囲内で記載

希望する
再更新期間

12

か月

No	具体的方策
①	予定表アプリを使い、月次目標を設定し、クリアできているか確認をする
	職員と目標に向けた取り組み状況について週次で面談を行う
②	模擬的な業務課題を与え、自身で帳票のひな型が設計できるように訓練する
	参考となるテンプレートの検索方法を指導する
③	Excelの入門書を1冊読破する
	MOS: Excel 365 (一般) レベルの習得を目指し参考書に沿って学習する
④	ビジネスシーンを想定したロールプレイを行いコミュニケーションスキルを強化する
	日々体験した出来事、学習した内容を簡潔にまとめて口頭で報告をするルーティンを身に付ける

4の①~④の残った課題に対応する具体的な行動を記載してください。各Noに対して1~3

※行が不足する場合、行を追加してください (スケジュールにも反映してください)

3 / 3

【要確認】 事業所提出書類 (準備したものに○)

<input type="radio"/>	標準利用期間を超える支給決定の再更新についての意見書 (本紙)
<input type="radio"/>	スケジュール表 (別紙)

受給者証番号	999999999999	支給決定 障害者名	川越 三郎	希望更新期間	2026/4/1	～	2027/3/31
--------	--------------	--------------	-------	--------	----------	---	-----------

No	具体的方策	スケジュール											
		1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目	7か月目	8か月目	9か月目	10か月目	11か月目	12か月目
①	予定表アプリを使い、月次目標を設定し、クリアできているか確認をする 職員と目標に向けた取り組み状況について週次で面談を行う												
②	模擬的な業務課題を与え、自身で帳票のひな型が設計できるように訓練する 参考となるテンプレートの検索方法を指導する												
③	Excelの入門書を1冊読破する MOS: Excel 365 (一般) レベルの習得を目指し参考書に沿って学習する												
④	を行いコミュニケーションスキルを強化する 潔にまとめて口頭で報告をするルーティンを身に着ける												

意見書5の①～④に対応したスケジュール表を作成します。
各項目を実施する予定のスケジュールを黒塗りや矢印などで示してください。